

巻頭インタビュー

宮城で熱い試合を見せたい



坂本 ジェイさん

セネガル共和国出身

仙台89ERS所属プロバスケットボール選手

——まず、ご出身のセネガルがどんな国か教えてくださいませんか？

アフリカ大陸西部に位置していて、マリ、ギニアなど5か国と国境を接し、国の西の方は大西洋にも面しています。生まれは母方の祖母の家がある北部のリシャルトルという町ですが、生後間もなく家族のいる首都ダカールに移りました。兄2人、姉1人、私、妹の5人兄弟です。セネガルは日本ではあまり知られていない国ですが、中学時代に必ず、明治維新などを経て日本が経済大国になったことを学ぶような親日国です。また、特徴としては、人に優しく、互いに助け合う文化が根付いていることが挙げられます。例えば、私の家もそうでしたが、来客や経済的に困っている人に食べさせるため、常に多めに食事を作る習慣があります。

——次に、バスケットボールについて伺いたいのですが、小さい頃からプレーしていたのですか？

子どもの頃はサッカーをしていて、バスケットボールを始めたのは13歳の時です。セネガルの学校の夏休みは3か月あるのですが、その年の夏休みの間に、身長がぐんぐん伸びて190cm近くになったのが、始めるきっかけになりました。友達や家族から、「(背が高くなったから)バスケットをやれ!」と勧められ、地元のスクールに入りました。実際にプレーしてみて、「サッカーと違って、点がたくさん入って面白い」と思いましたね。ちなみに、身長はその後伸び、現在は206cmです。

——どんな経緯で、日本に来られることになったのでしょうか？

「バスケットボールのプロ選手としてプレーしたい!」と思うようになったのが、動機です。セネガルにはプロリーグがないので、国外に出るしかありません。私には、既に日本国内のチームでプレーしていた従兄弟がいて、彼から「安全な国で、人も親切だ」と聞き、日本に行こうと思いました。彼の所属するチームの監督と高校バスケットボールの強豪・宮崎県の延岡学園高校の監督が知り合いだったことから、私はセネガルの高校を中退し、同校に入学することになりました。17歳でした。

——強豪校の部活動は大変だったかと思いますが、いかがでしたか？

練習時間の長さが衝撃的で、始めは「体が壊れる」と思いました。セネガルにいる時の練習は週3回で、1回あたり長くて2時間だったので、平日約5時間、土日は朝から夕方までという練習時間に驚きました。でも、だんだん慣れていきましたね。私が入ってから強くなり、3年生の時にはインターハイで優勝することができました。生活面では、住んでいた寮から1番近いコンビニエンスストアまで自転車で15分もかかるような環境でしたが、自転車に乗っていると、地元の人が私の名前を呼んで激励してくれる



「レバンガ北海道」と対戦したホームゲームで、先発出場して活躍する坂本選手
=2016年10月1日 ©SENDAI 89ERS

ようなアットホームさの中、楽しい高校生活を送ることができました。

——高校卒業後は、浜松大学(現・常葉大学)、卒業後は、三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ(現・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ)でプレーされました。

浜松大学の監督が高校時代の私のプレーを高く評価し、スカウトしてくれたので、同大に入学しました。高校時代は通算で6回くらいしか負けたことがなかったのに、大学に入ると、関東の大学が強いために簡単には勝てず、「ボロ負け」することもあり、悔しかったですね。三菱電機では始め、外国籍選手枠の関係で試合に出られませんでした。2013年の日本国籍取得後、公式戦に出てプレーできるようになりました。

——日本国籍の取得は大きな決断だったと思いますが、動機や経緯を教えてくださいませんか？

「日本代表になってプレーしたい!」と思ったのが、1番の動機です。日本が大好きだし、友達もお世話になった方々も皆、日本人なので、「日本代表として活躍し、恩返ししたい!」と考えました。日本語の学習などにも一生懸命取り組んだ結果、日本国籍を取得することができ、2014年には1度、念願の日本代表に選ばれました。国籍取得時に、名前を「ママドゥ・ジェイ」から「坂本 ジェイ」に変えたのは、広い視野を持ち、日本の近代化に貢献した坂本龍馬を尊敬しているからです。

——2016-17シーズンから、仙台89ERSでプレーされることになりました。チームに入ってみて、どんな印象を持っていますか？

雰囲気明るいですね。ファンの応援もすごく、初めてのホームゲームでは観客席がチームカラーの黄色に染まったのを見て、感動しました。仙台に関しては、街の規模がコンパクトで、身近なところで何でも揃って便利だと思います。人も優しく、高校時代に住んだ九州に似ていると感じています。食べ物では、牛タンが好きですね。

——今後の抱負を教えてください。

バスケットボールはコミュニケーションが大事なスポーツなので、チームメイトと日頃から積極的に意見交換を図り、攻守での良いプレーにつなげたいです。そして、毎回、全力で戦い、宮城の皆さんに、「すごい試合だった!」と思っていただけるような熱い試合を見せたいです。また、再び日本代表になって活躍し、お世話になった方々の親切に報いるのも大きな目標です。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2016年12月～2017年1月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2016	12	S	M	T	W	T	F	S	2017	1	S	M	T	W	T	F	S
						1	2	3			1	2	3	4	5	6	7
	4	5	6	7	8	9	10				8	9	10	11	12	13	14
	11	12	13	14	15	16	17				15	16	17	18	19	20	21
	18	19	20	21	22	23	24				22	23	24	25	26	27	28
	25	26	27	28	29	30	31				29	30	31				

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

人：主催

📍：会場

🕒：時間

📝：申し込み

💰：参加費

☎：電話

FAX：FAX

✉：Eメール

🌐：ホームページ

12月 DECEMBER

12月 4・12・18・25日

円通院ボランティアガイド

人 松島善意通訳者の会

📍 円通院

🕒 10:00～15:00

📝 不要(現地へ直接)

💰 入場料300円は自己負担

☎ FAX 022-354-3678(大浦)

✉ hoshido_mutsuo@ybb.ne.jp

🌐 http://www.geocities.jp/matsushima gw/

12月 4・12・18・23・25日

瑞蔵寺ボランティアガイド

人 松島善意通訳者の会

📍 瑞蔵寺

💰 入場料700円は自己負担

📝 不要(現地へ直接) ※円通院と同じ

12月 第2・第4木曜

英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座

人 松島善意通訳者の会

📍 松島町勤労青少年ホーム

🕒 【英会話入門・初級】13:30～15:30

【ボランティアガイド養成講座】

15:30～17:00

☎ 電話・メール

💰 無料、教材は自己負担

☎ FAX 022-261-6768

FAX 022-261-0610 ※円通院と同じ

12～1月 第3水曜

申請取次行政書士による外国人のための

入管手続無料相談会

人 宮城県行政書士会

📍 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場

🕒 13:00～16:00

☎ 電話受付または予約なしでもOK

💰 無料

☎ 022-261-6768

FAX 022-261-0610

2日

東北日本カナダ協会 クリスマスパーティー

2016～東北復興支援チャリティー～

人 東北日本カナダ協会

📍 江陽グランドホテル 4階「銀河」

🕒 17:30開場、18:00開会、20:00終了

☎ 要(電話・FAXで、氏名、連絡先をご連絡下さい)

💰 会員(本人・家族)/カナダ人5,000円、

非会員7,000円、高校生以下2,000円

☎ 022-799-6061

FAX 022-799-8390

🌐 http://www.tohoku-canada.org/

10日

フランスのクリスマス「ノエル・パーティー」

人 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

📍 仙台市青葉区本町2-8-10-4F/5F(予定)

🕒 未定(※詳細はHPにてご案内)

📝 要(電話・FAX・メール)

💰 未定

☎ 022-225-1475

FAX 022-225-1407

✉ contact@alliancefrancaise-sendai.org

🌐 http://alliancefrancaise-sendai.org

11日

ワールドクリスマスパーティ

人 国際サークル友好21

📍 石巻中央公民館 2階 大ホール

🕒 10:00～13:00

📝 当日申し込みOK

💰 無料

☎ 0225-23-2863

FAX 0225-23-2865

17日

映画上映会「イラク・チグリスに浮かぶ平和」

人 宮城県ユニセフ協会

📍 せんだいメディアテーク スタジオシアター

🕒 ①10:30～ ②14:00～

📝 要(電話、FAX、メール)

💰 無料(要事前申し込み)

☎ 022-218-5358

FAX 022-218-3663

✉ sn.municef_miyagi@todock.jp

🌐 http://www.unicef-miyagi.gr.jp

17日

外国籍の市民とその家族及び関係者のための

VISA・生活無料相談会

人 NPO法人ビザ&ライフサポートインみやぎ

📍 大崎タイムス社

🕒 11:00～14:00

☎ 電話にて。当日直接も可能

💰 無料

☎ 090-7937-6716

FAX 022-358-1250

🌐 http://www.visa-life-support.jp/

18日

2016 登米市国際まつり

人 登米市国際交流協会

📍 登米市迫公民館

🕒 10:30～14:30

☎ 不要

💰 無料(ポットラック形式)

☎ 0220-52-2144

FAX 0220-23-9559

✉ tifa-kokusai@coda.ocn.ne.jp

🌐 http://www.tome-kokusai.com

18日

留学生交流会

人 仙台ユネスコ協会青年部

📍 仙台国際センター 研修室A・B

🕒 13:00～17:00

☎ 12月8日までに、下記のメールアドレスに、①氏名②大学名③メールアドレスを書いて送って下さい。定員60人。

💰 500円

☎ 022-224-2581

FAX 022-302-3406

✉ u.sendai.gakuseibu@gmail.com

🌐 http://unesco.or.jp/sendai/

22日

仙台フィンランド協会

「ファミリークリスマスパーティー」

人 仙台フィンランド協会(事務局:七十七銀行秘書室内)

📍 江陽グランドホテル

🕒 18:00～

☎ FAX

💰 大人5,000円/子ども(小学生以上)2,000

円/留学生1,000円/幼児無料

☎ 022-267-1111

FAX 022-264-2706

1月 JANUARY

1月 第2・第3木曜

英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座

人 松島善意通訳者の会

📍 松島町勤労青少年ホーム

☎ 12月の「英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座」と同じ

18日

MIA日本語サポータービギナー研修会

人 公益財団法人宮城県国際化協会

📍 宮城県国際化協会 交流ラウンジ

🕒 13:00～16:00

☎ 要(電話・メール)。定員20名(先着順)。

💰 無料

☎ 022-275-3796

✉ mail@mia-miyagi.jp

19日

アフリカからの人類の旅-日本列島への到着

人 仙台国際センター 研修室

📍 アフリカ・セミナーの会

🕒 10:00～12:00

☎ 不要

💰 1,000円

☎ FAX 022-362-7907(鈴木)



MIA日本語サポータービギナー研修会

日本語を学習したい外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。日本語サポート活動を始めてみたい方、登録はしてみたけれど実際どうしていいかわからないというビギナーの方々に勧めます。

■日時：2017年1月18日(水) 13:00～16:00

■場所：宮城県国際化協会 交流ラウンジ

■内容：地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語、やさしい日本語について、日本語学習教材の紹介など

■講師：鈴木英子さん(MIA日本語講座スーパーバイザー)

■定員：20名(先着順)

■申込：MIAまで電話またはE-mailにて。

※参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。未登録の方は事前にMIA日本語サポーターへの登録をお願いします。

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「日本語教育のスタートライン 本気で日本語教師を目指す人のための入門書」

著者：荒川洋平 発行：スリーエーネットワーク

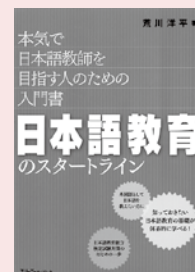
地域の日本語教室の支援者や、経験が浅い日本語教師向けに書かれた、日本語教育の基礎知識を体系的に学ぶための本です。

文法、音声、異文化コミュニケーションといった、さまざまな領域のことが網羅的に取り上げられているので、日本語教育の全体像を理解するのに適していますし、わからない用語に出会ったときに辞書的に使うこともできます。

この本の大きな特徴は「わかり易さ」。著者の他の本と同様に、専門的な内容を平易な語り口で説明しているので、かなりの分量ではありますが、比較的楽に読み通せるのではないのでしょうか。

また、本書を読んで「もっと知りたい」と感じた人向けに、次に読むべき参考書も項目ごとに紹介されていて、この点でも、これからしっかり勉強したい人が最初に読むべき一冊として適しています。

今年10月に発行されたばかりですが、今後、日本語教育の「入門書」の定番となっていくでしょう。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階
TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp
JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

「パラグアイや世界のことを知る!考える授業!」が
東北4県の小、中、高、特別支援学校で行われています!
ー2016年度教師海外研修パラグアイ訪問で得た経験が
学校現場で活かされていますー

JICAでは毎年、小、中、高、特別支援学校等の先生方を対象に、実際に開発途上国を訪問することで、その国の現状と日本との関係について理解を深め、その成果を学校現場での授業実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらうことを目的として研修を実施しています。

今年度、JICA東北の教師海外研修では、青森、岩手、宮城、山形の各県から計10名の先生が参加され、7月23日～8月7日までの16日間にわたって南米・パラグアイを訪れました。

パラグアイと日本、日常生活の中であまり馴染みがないように感じますが、東北地方の出身者も多い現地の日系社会とのつながり、ゴマや大豆製品などの輸入、東日本大震災での支援、JICAボランティアや専門家などの派遣等様々な接点があります。先生方は研修を通して、発展し続けている同国の都市部と地方の格差、教育、医療等様々な分野における課題を目にすると共に、その課題に対して支援を続けるJICAボランティアや専門家と関わることで「支援とは何か」を考えたり、パラグアイの人々の優しさや温かさ、穏やかに日々を暮らしている姿を見て「豊かさ」について考えたりしながら、多くのことを吸収し、体感してきました。

帰国後は各校においてパラグアイで得た経験や素材を活かした授業が行われており、児童や生徒がパラグアイ及び世界の現状や

日本とのつながりについて学んでいます。

宮城県内の小学校で行われた授業では、小学1年生がパラグアイと日本の学校を比較し



て「どうして学校へ通うのか?」というテーマについて考え、「大人になった時に仕事できないから」「勉強ができないと困るから」など、日頃当たり前のように学校へ通い、友達や先生と一緒に学ぶ理由を見つめ直すことにより、今置かれた環境に感謝し、学ぶ大切さに気づく機会となりました。

(本研修及び実践授業の様子はJICA東北HP開発教育支援事業ホームページに掲載予定です)

2017年度教師海外研修は来年4月より募集を開始する予定ですので、開発教育・国際理解教育を実践されている方、関心がある先生、開発途上国に興味・関心のある先生からのご応募をお待ちしております。

詳細は来年4月以降にJICA東北HPでご案内予定です。

(JICA東北開発教育支援事業ホームページ)

<https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/kaihatsu/index.html>



「平成28年度多文化共生シンポジウム in 栗原」開催のお知らせ 《外国人も地域住民です…災害体験から学ぶ多文化共生の在り方》(仮)

宮城県では多文化共生についての県民の皆様の理解の輪を広げることを目的に、毎年開催地を変えてシンポジウムを実施しております。今年度は、栗原市若柳において、外国人住民と災害をテーマとして実施いたします。

『外国人はみんな災害弱者と括ってしまっている?』

『外国人だって自助力を高めておく必要があるのでは?』

『最近、技能実習生が増えてきたけれど、みんな避難訓練に参加してるのかな?』

災害大国ニッポンに暮らす私たち。

国籍に関係なく、ふだんから地域住民みんなで備えておくべきことを、共に考えてみませんか。

■主催：宮城県、宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会

■共催：栗原市、栗原市国際交流協会、(公財)宮城県国際化協会

■日時：2017年1月29日(日)10:00～13:30

■会場：栗原市若柳総合文化センター(若柳ドリーム・パル)

■内容：●宮城県の国際化の現状についての報告

●基調講演「被災体験をパネに、母国台湾との架け橋を担う」(仮)
講師：佐藤金枝さん(台湾出身、南三陸町国際交流協会理事)

●パネルディスカッション

栗原市に暮らす海外出身者の方々が登壇しての意見交換

●おにぎり交流パーティ ※参加費300円が必要です

海外の民族舞踊を鑑賞しながら、おにぎり郷土料理「はっ」とで参加者相互の交流を図ります。

■定員：150名程度

■お問合せ：宮城県国際経済・交流課 ☎022-211-2972 または
(公財)宮城県国際化協会 ☎022-275-3796

平成28年度国際協力セミナー「多様化する留学生と日本の国際貢献～東北大学とJICA東北の取組～」が開催されました

平成28年度国際協力セミナー「多様化する留学生と日本の国際貢献～東北大学とJICA東北の取組～」が10月29日(土)、仙台市青葉区のJICAプラザ東北で開催されました。同セミナーは、独立行政法人国際協力機構東北支部(JICA東北)と当協会が毎年共催で実施しており、今年で16回目。当日は、24名の留学生を含め、学校関係者や国際交流に関わる市民の方々など約60名にご参加いただきました。

第一部では、東北大学グローバルリーニングセンター副センター長の末松和子氏が、同大への留学生が増加傾向にある理由、帯同家族の生活の問題といった受け入れに伴う課題などについて説明して下さいました。JICA東北の畠山敬専専任参事からは、途上国の発展に貢献する人材の育成といったJICAによる留学生受け入れの目的や留学生から見た日本の印象などについてお話がありました。

第二部では、第一部の登壇者2名に、ガーナ共和国出身で、国費留学生として東北大学で6年学んで修士号と博士号を取得した後、日本

で就職したアイザック ヤウ アスィードウ氏が加わったパネルディスカッションが行われました。アイザック氏は、日本の物価の高さによる生活の厳しさや帰国後の進路に関する不安といった留学生が抱える問題やその支援の在り方について、ご自分の経験も踏まえ、様々な意見を出されました。留学生が地域社会の中で市民と連携、共生する意義についても、それぞれの立場から発言がありました。

また最近、東北大学ではインドネシア人留学生が急増していることもあり、参加していたインドネシア人留学生からは学内でのイスラム文化への配慮をより求める意見も出されました。



MIA法人賛助会員ご紹介コーナー

東日本急行株式会社(本社・仙台市)



当社は、国道4号線にバス路線のある宮城・岩手両県のバス会社5社の役員11人が発起人となり、昭和43年に設立されました。現在は、季節運行の路線を含め、仙台市と両県内の7つの地域を結ぶ高速乗合バス30台と貸切バス17台を運行しています。

社は、「己を厳しく律し 誇りと自信を持って 職責をまっとうする」。安全運行を「最大のサービス」、「社会的責務」と考え、健康管理に関する研修の実施など全社を挙げて様々な取り組みを実施しています。その成果として、昨年9月には、(公社)日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」で、最高ランクの三ツ星の認証を受けました。社外の講師による接客研修などで、運転手の接客やコミュニケーション力の向上も図っています。

外国人観光客の対応にも力を入れており、仙台一盛岡、仙台一関、仙台一平泉の3路線では、英語、中国語、韓国語の三か国語で記された簡単な乗車案内のパンフレットを車内に常備し、日本語を話せない外国人が乗車した場合に運転手が活用しています。さらに、今年4月には仙台一平泉間、今年8月には仙台一盛岡間で、英語の車内アナウンスを開始しました。会社創立50周年となる平成30年までには、全運行路線で実施できるよう、現在、準備を進めています。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただく個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円

団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の

定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)

◎企業会員については世界各国国旗の無償貸出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

●入会方法

◎本協会まで御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.88

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914

仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階

TEL 022(275)3796

FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/